

高山市長 ご挨拶

本日ここに、友好都市平塚市の平塚湘南ロータリークラブが創立15周年の記念すべき年を迎えられ、盛大に記念式典が挙行されますことを、心からお祝い申し上げます。

また、この大きな記念の年に高山中央ロータリークラブと「友好クラブの締結」の運びとなりましたことも合わせまして、心からお祝いとお慶びを申し上げます。

ご存知のように平塚市と高山市は、昭和57年10月22日に、双方の市民の総意により「友好都市」の契りを交わし、今日まで市民の皆様を中心に交流を深めてまいりました。

また、市政におきましては、職員交流や先進事例の交換などを通して活発に交流をさせていただき、都市交流として全国的にも大きな成果が上がっているものの一つとして自負いたしております。

こうした中で、今回平塚湘南ロータリークラブと高山中央ロータリークラブにおかれましては、早くから交流を進められ、今回15周年という大きな節目に、「友好都市提携盟約」の精神に基づく市民相互の友好と繁栄を推進するとともに、両クラブの「奉仕への理想」の推進と「友情の輪」を広げるというロータリー活動の更なる向上を目指す目的で「友好クラブ」を締結されましたことは、誠に喜ばしく、このような活動をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

さて、高山市は、合併後のまちづくりの基本理念を「住み良いまち、生きよいまち」と定め、豊かな自然環境と長い歴史に培われた伝統を活かしながら、誰もが住みよさを実感し、安全で、安心して、快適に暮らすことのできるバリアフリーのまちづくりを推進しているところであります。

友好都市の双方の市民の皆様が交流の中でお互いに学びあい向上されることは、今後の「住みよいまちづくり」にとって大きな力となるものと確信いたしております。

新たなまちづくりに対しましても、双方の都市交流をさらに深め、今後とも皆様の力強いご支援・ご協力を賜りながら進めてまいりたいと考えておりますので宜しく願申し上げます。

また、一昨年、飛騨地方を襲いました未曾有の水害に対しまして平塚湘南ロータリークラブ様から多額の見舞金をいただき、また、平塚市民の皆様方からも心温まるお見舞いを頂戴いたしましたことをこの場をお借りし厚くお礼申し上げます。おかげさまで災害復旧は順調に進み、市民生活も安定しつつあるところであります。

最後になりましたが、15年という永きわたり平塚湘南ロータリークラブの基盤を確固たるものに築かれた歴代会長、役員、会員の皆様方のご努力に対し、衷心より敬意を表しますとともに、創立15周年を契機とされまして、平塚湘南ロータリークラブが益々ご発展されますことと、会員の皆様方の一層のご活躍とご健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成18年2月10日

高山市長 土野 守